



世界一熱いラグビーを届けよう。
TRY FOR ALL
AICHI・TOYOTA

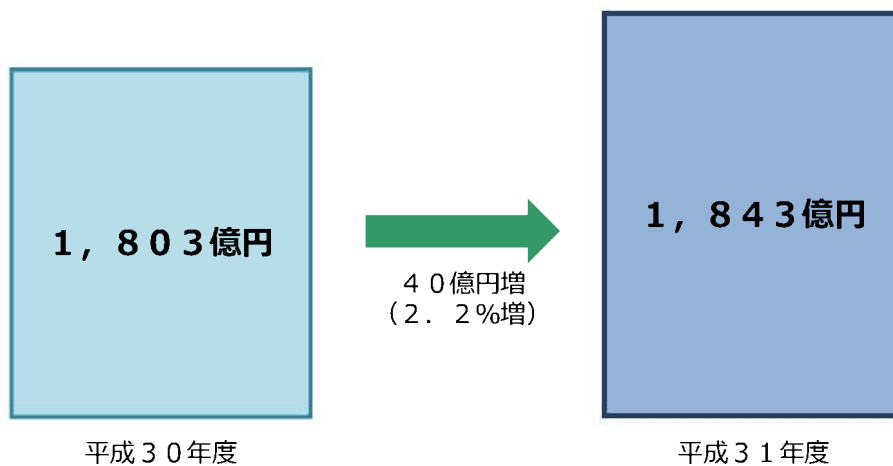
平成31年度 当初予算の概要

※改元後は新元号に読み替えてください。 1



■ 一般会計当初予算の総額

- ・ 一般会計 1,843 億円は過去 2 番目の規模
(過去最高は平成 28 年度の 1,859 億円)



2



■平成31年度当初予算編成のポイント

- ・平成から「新たな時代」へ
- ・いよいよ開催となる「ラグビーワールドカップ2019™」
～大きな転換期。危機感をもち、未来志向でまちづくりを推進。～



3



1 元気で明るいまちづくり

() 内は「豊田市の予算」のページ数

2019 ☉ とよたの秋がおもしろい！
～ ラグビーワールドカップ2019™と関連イベント ～

◆試合会場・(仮)ファンゾーンの運営、誘客

- ・ ☉ 愛知・豊田開催支援委員会負担金 (5億672万円)
- ・ ☉ 公認チームキャンプ地交流事業 (2,471万円)
- ・ ☉ 試合観戦客に対するプロモーションの実施 (7,220万円)
- ・ ☉ 消防特別警戒 (657万円) など

◆(仮)おもてなしエリア(豊田市駅周辺)等

- ・ ☉ (仮) おもてなしエリアイベント会場の整備、運営 (1億円)
- ・ 銀行跡地芝生広場の整備、停車場線の交通規制など (1億8,750万円)
- ・ とよたの「和」をコンテンツとしたプロモーション (506万円)
- ・ 花とみどりでおもてなし (644万円)
- ・ 次世代モビリティのPR及び体験乗車(通年で実施) (1,779万円)
- ・ 矢作川フェスタ (2,000万円) など

◆(仮)とよたアートプログラム2019

- ・ 市民アートプロジェクト (980万円)
- ・ おいでんアート体験フェア (950万円)
- ・ デカスプロジェクト (628万円)
- ・ クリムト展 ウィーンと日本1900 (2,850万円)
- 【関連事業】あいちトリエンナーレ2019 (9,281万円)

9/23(月-祝) 19:15~	ウェールズ	v	ジョージア
9/28(土) 18:45~	南アフリカ	v	ナミビア
10/5(土) 19:30~	日本	v	サモア
10/12(土) 13:45~	ニュージーランド	v	イタリア

☉…ラグビーワールドカップ2019™開催に直接関係する予算

詳しくは「豊田市の予算 (P9~10ほか)」をご覧ください

4



1 元気で明るいまちづくり

() 内は「豊田市の予算」のページ数

文化・スポーツ・観光

- ◆ **新規** MICEを活用したプロモーション戦略の検討 **1,000万円 (P21)**

地域経済の活性化を図るため、MICEを活用したプロモーション戦略の調査・検討を実施。

- ◆ **拡充** ラリーを活かしたまちづくりの推進

900万円 (P21)

平成31年度は、世界ラリー選手権に関する準備調査や地方ラリー選手権等の開催支援を実施。



ラリーイベント

- ◆ (仮) **豊田市博物館の建設** **2億681万円 (P7)**

平成31年度は、建物や外構、進入路等の設計を実施。また、旧豊田東高等学校の解体設計を実施。

- ◆ **運動広場・地域体育館等の整備** **2億5,867万円 (P14)**

(仮) 梅坪台運動広場を整備(平成31年度中に供用開始予定)。また、(仮) 松平地域体育館等の整備を推進。



(仮) 梅坪台運動広場 イメージ図

5



1 元気で明るいまちづくり

() 内は「豊田市の予算」のページ数

都市基盤整備

- ◆ **拡充** 都心環境計画に基づく市街地再整備 **4億798万円 (P25)**

都心のにぎわい創出に向け、都心施設の再整備(豊田市駅東口拠点施設・芝生広場工事、ペDESTリアンデッキ延伸工事等)を実施。

- ◆ **土地区画整理事業の推進** **68億2,682万円 (P6)**

住民ニーズの高い良好な住環境創出のため、現在事業中の6地区(土橋・寺部・花園・浄水・平戸橋・四郷駅周辺)の事業を推進。

- ◆ **道路ネットワークの強化** **45億5,569万円 (P4,26)**

- ・ 企業活動を支える都市基盤・環境の整備
(高橋細谷線、豊田刈谷線、豊田南・北バイパス関連市道、国道301号関連市道)
- ・ 高速道路へのアクセス性向上(上郷スマートインターチェンジ)
- ・ 鉄道駅へのアクセス性向上(都)西岡吉原線ほか)
- ・ 渋滞対策の推進(国道419号関連市道)



上郷スマートインターチェンジ周辺
(イメージ図)

- ◆ **名鉄三河線若林駅付近の高架化の推進** **2億8,863万円 (P26)**

名鉄三河線若林駅付近2.3kmの鉄道を高架化するため、協議調整や用地取得、設計等を実施。

- ◆ **拡充** 中央公園第二期整備事業 **9,024万円 (P25)**

第二期整備に向けて、市民ワークショップの開催や都市計画決定を目指し基本設計等を実施。

6



1 元気で明るいまちづくり

産業の誘致

◆ 花本産業団地の拡張 5億597万円 (P4)

花本産業団地の南側隣接地を拡張し、新たな産業用地を整備。平成30年度～平成32年度にかけて造成工事を実施。

◆ 南部地域における産業用地の整備

3,400万円 (P4)

南部地域産業用地整備に伴う周辺道路整備のための測量及び予備設計を実施。



花本産業団地周辺

◆ **拡充** 豊田東 I C 周辺における産業用地創出の検討 6,600万円 (P4)

新たな産業用地の創出のため、豊田東 I C 周辺での事業化に向け概略設計及び土壌調査等を実施。

7

1 元気で明るいまちづくり

未来都市の実現に向けて

◆ **拡充** 豊田市つながる社会実証推進協議会活動の活性化 1,300万円 (P4)

「未来都市とよたビジョン」が目指す豊かな暮らしの実現に向けて、協議会の体制・活動支援策等を見直し、先進技術を活用した取組を支援。

実装事業

◆ **新規** コネクティッドカーの情報を活用した路面状況調査 700万円 (P25)

道路の路面状況を把握するため、コネクティッドカー（通信機を搭載した自動車）によるデータ収集を実施。

◆ **新規** 燃料電池バス SORA の運行 4,625万円 (P26)

燃料電池バス SORA を新たに導入し、基幹バス路線での運行のほか、ラグビーワールドカップ 2019™ 時におけるシャトルバス運行、各種イベント時の P R 出展を実施。



燃料電池バス SORA

8

1 元気で明るいまちづくり

実証事業

- ◆ **新規** 公道を活用した自動走行実証実験 **800万円 (P5)**
 自動走行の実証先進都市を目指し、エコフルタウン等で実施した「自動走行実証」を公道で実施。



計画づくり

- ◆ **新規** M a a S - C i t y とよたの検討 **1,300万円 (P4)**
 将来のM a a S社会の到来に備え、本市にとって必要なモビリティサービスのあり方を官民連携で検討。
 ※M a a S (Mobility as a Service) : クルマを単なる移動手段ではなく、様々なサービスの媒体として捉える考え方



9

2 安全・安心なまちづくり

交通安全・防災

- ◆ **歩行者保護モデルカー活動の推進** **450万円 (P19)**
 「車優先から歩行者優先」へとドライバーの意識を変えるため、引き続き、決起大会の開催や横断幕の掲示、ステッカーの配布等を実施。
- ◆ **高齢者への交通安全対策の推進** **1,290万円 (P19)**
 高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、「高齢者運転技術講習会」や「高齢者交通安全防犯世帯訪問事業」を実施。
- ◆ **拡充** **ハザードマップの更新** **5,808万円 (P18)**
 土砂災害に関する警戒区域や河川氾濫などの情報を掲載したハザードマップを更新。
- ◆ **新規** **市民向け気象情報サイトの開設** **250万円 (P18)**
 台風予想、雨量予想、河川水位などが閲覧できるWEBサイトを新たに開設。
- ◆ **新規** **災害対策本部情報収集体制の強化** **131万円 (P18)**
 SNSに投稿された映像や画像をAIが解析し、有用な情報を抽出するシステムを導入。
- ◆ **災害時情報通信設備の整備** **1億1,351万円 (P18)**
 災害時の情報伝達を強化するため、280MHz帯対応の防災ラジオを市が一定額を負担し配布。



トヨタ自動車ヴェルブリッツ選手と連携した交通安全啓発

10

2 安全・安心なまちづくり

() 内は「豊田市の予算」のページ数

保健・医療・福祉 (1)

- ◆ **新規** (仮) 訪問看護師人材育成センター開設 2,538万円 (P2)
 訪問看護人材の確保・育成を図るため、豊田地域医療センターに新設する(仮)訪問看護師人材育成センターの運営に対して負担金を支出。
- ◆ **拡充** 先進技術を活用した在宅療養の推進 2,071万円 (P2)
 タブレットを使ったオンライン診療のモデル実証を実施。また、豊田地域医療センターを拠点とし、ロボット技術を活用した地域リハビリテーションの展開を図るための研究・実証等を産学官連携で推進。
- ◆ **拡充** 地域包括支援センターの運営 9億6,428万円 (P17)
 地域で暮らす高齢者を、介護、福祉、健康、医療等の様々な面から総合的に支援。また、益富地区に地域包括支援センターを新規開設。

11

2 安全・安心なまちづくり

() 内は「豊田市の予算」のページ数

保健・医療・福祉 (2)

- ◆ **特別養護老人ホーム等の整備** 3億1,971万円 (P3)
 介護保険施設を充実するため、認知症高齢者グループホーム、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所、広域型特別養護老人ホームの整備に対して補助を実施。
- ◆ **拡充** 認知症高齢者等への支援 3,782万円 (P2)
 認知症の人の行方不明時の事故等による損害賠償請求について、市が保険に加入することで新たな支援を実施。また、GPS検索機器の利用促進、認知症初期集中支援チームによる支援に加えて、若年性認知症の人の社会参加の機会創出を実施。
- ◆ **障がい者の日中活動場所整備の推進** 8,828万円 (P17)
 民間障がい者施設の運営や、施設の賃借に係る費用に対する補助を実施。また、県営手呂住宅跡地での日中活動場所の建設に向けた支援を実施。
- ◆ **重症心身障がい者等への生活支援** 2,324万円 (P17)
 医療的ケアが必要な重症心身障がい者等の在宅生活を包括的に支援するため、医療型短期入所に対する補助を実施。あわせて、暮らしを支えるコーディネーターを配置し、支援体制を強化。
- ◆ **新規** 子ども食堂運営への支援 643万円 (P3)
 子ども食堂を運営する地域団体等に対して、食の安全面を確保するための補助金を新設。また、社会福祉協議会内にあるボランティアセンターの体制強化を図り、支援機能を拡充。

12

2 安全・安心なまちづくり

子育て・教育

◆ **拡充** 幼児教育・保育の無償化 8億730万円 (P12) (概要)

- ・ 3～5歳児の全世帯、0～2歳児の市民税非課税世帯が対象
- ・ こども園や幼稚園など、認可施設の利用料を原則無償化

◆ **待機児童対策** 9億9,897万円 (P12)

0～2歳児の受入枠を拡大するため、公立こども園2施設の整備を実施。

※対象：住吉こども園（改修）・高嶺こども園（改築）。
 2施設とも平成32年4月供用開始予定。



◆ **新規** 子育て支援サービスの充実 498万円 (P11)

産前産後の子育て家庭が安心して出産、育児ができるよう、家事育児支援を行うヘルパー派遣や双子などの多胎児の妊婦に対する健康教室を新たに実施。

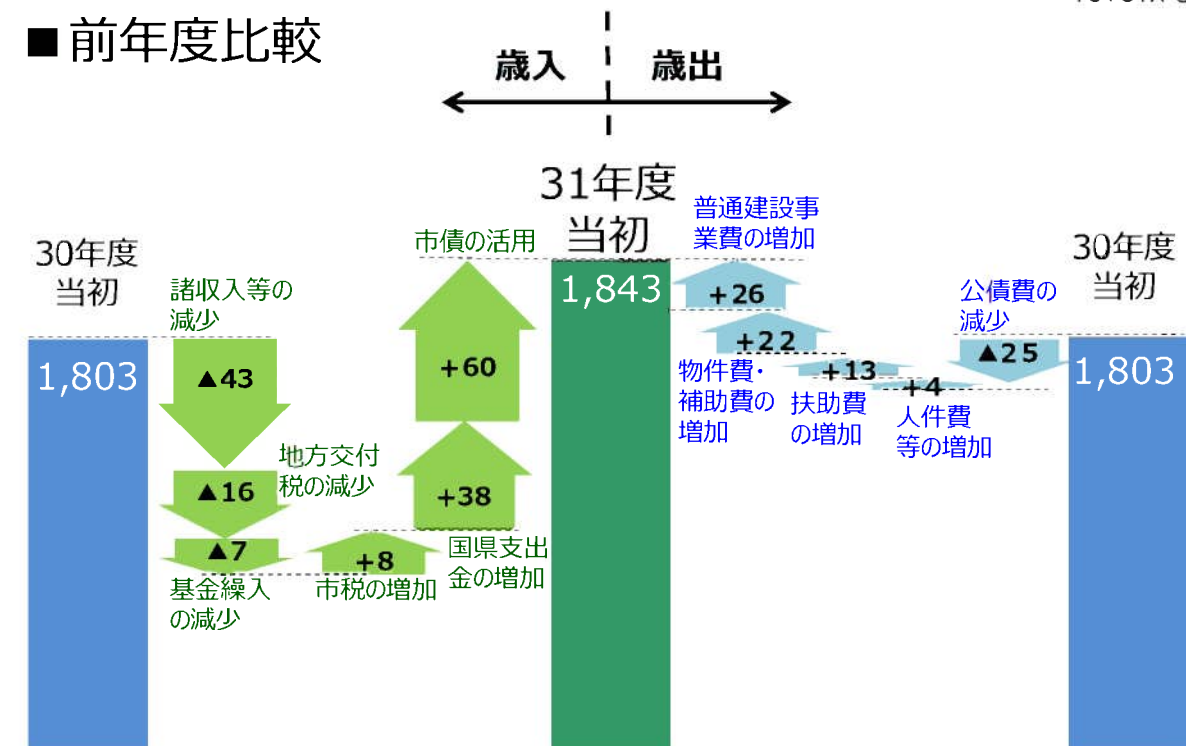
◆ **拡充** 放課後児童の健全育成 13億2,283万円 (P13)

平成31年度は、新たに大蔵、大沼、御作小学校にて放課後児童クラブを開設。また、駒場、衣丘、土橋小学校の施設新築工事を実施。

13



■ 前年度比較



14



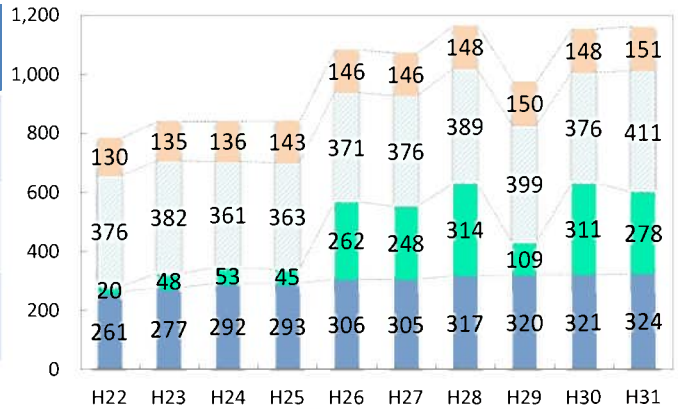
■ 歳入の特徴 < 市税 >

- ・ 市税 1, 164 億円、対前年度 8 億円の増
 (2年連続で 1, 000 億円を上回り、過去 4 番目の規模)

【主な市税の対前年度比較】 (単位：億円)

	31年度	30年度	増減
個人市民税	324	321	+3
法人市民税	278	311	▲33
固定資産税	411	376	+35

【市税当初予算額の推移】 (単位：億円)



【市税当初予算規模 (降順)】

- 1, 235 億 (H20)
- 1, 196 億 (H19)
- 1, 168 億 (H28)
- 1, 164 億 (H31)

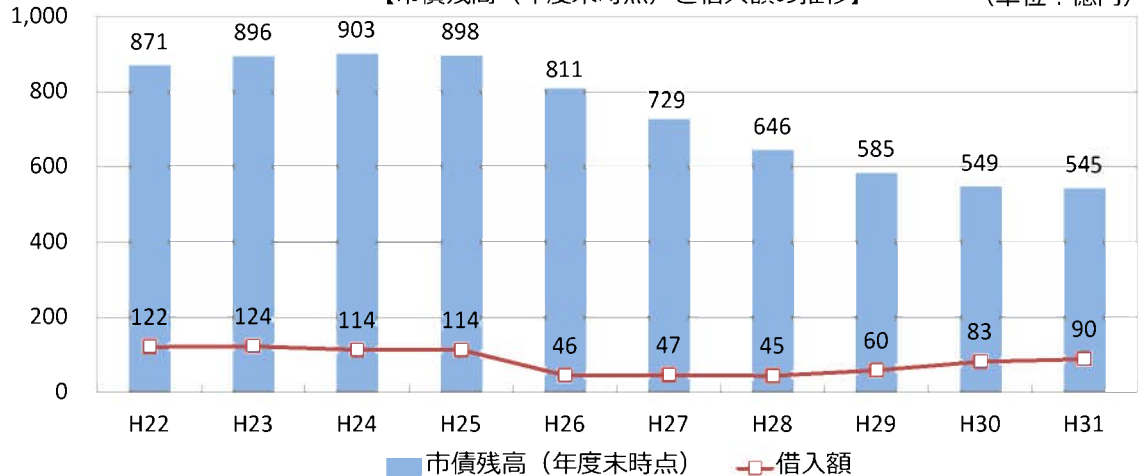
市税 予算	787	842	842	844	1,085	1,075	1,168	978	1,156	1,164
----------	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-------	-----	-------	-------

15

■ 歳入の特徴 < 市債 (借入金) >

- ・ 借入額は元金償還額を超えない額とする
- ・ 土地区画整理や公共施設の整備等、将来のまちづくり事業に活用

【市債残高 (年度末時点) と借入額の推移】 (単位：億円)



元金償還額	102	99	107	119	133	129	128	121	119	94
-------	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

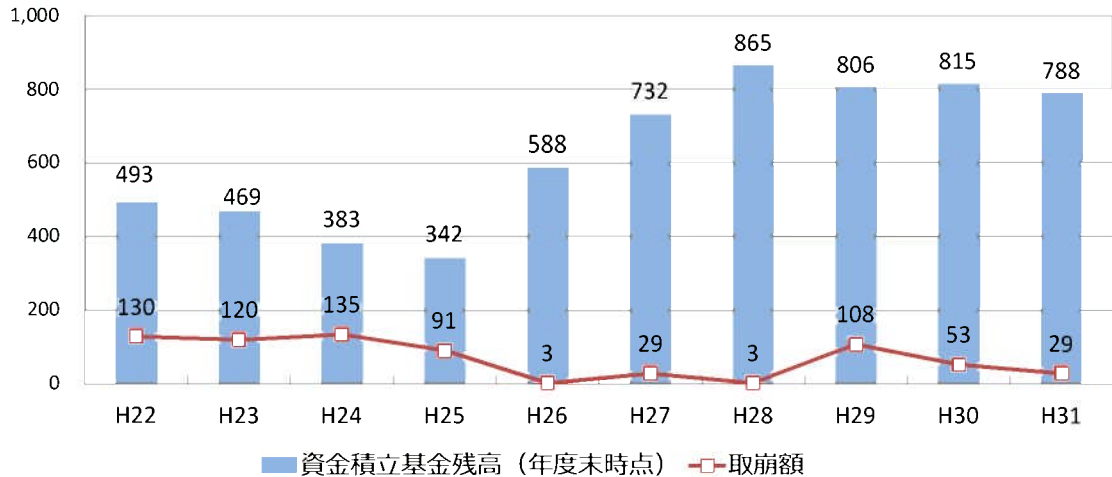
※H22～H29は決算額、H30及びH31は見込み額、H30借入額には翌年度繰越想定分を含む

16

■ 歳入の特徴〈基金〉

- ・ 第8次総合計画の計画的な推進等に活用
- ・ 急激な経済情勢の変化等の対応に必要な基金残高は確保

【資金積立基金残高（年度末時点）と取崩額の推移】（単位：億円）



積立額	105	96	49	50	249	173	136	49	62	2
-----	-----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	---

※H22～H29は決算額、H30及びH31は見込み額、H31積立額は端数調整後の金額 17



■ 歳出の特徴〈性質別前年度比較・義務的経費〉

- ・ 人件費は、正規職員の増員等により増
- ・ 扶助費は、私立認定こども園の増加、保育無償化の影響により増
- ・ 公債費は、大型事業の市債の償還が終了することによる減

（単位：億円）

区分	31年度	30年度	増減額	主な増減理由
人件費	319	314	+5	正規職員の増員等
扶助費	321	308	+13	教育・保育給付費 +6.6億
公債費	97	122	▲25	元金 ▲23.9億 利子 ▲0.8億
計	737	744	▲7	

18



■ 歳出の特徴〈性質別前年度比較・その他経費〉

(単位：億円)

区分	31年度	30年度	増減額	主な増減理由
物件費	342	328	+14	選挙事務費 +2.5億 地域包括支援センター運営費 +1.3億
維持補修費	31	28	+3	橋りょう長寿命化修繕費 +1.9億
補助費等	212	204	+8	カブチーワールカップ2019開催推進費 +3.4億
普通建設事業費	398	372	+26	北部給食センター建設費 +24.9億 豊田地域医療センター再整備費 +20.9億 美術館改修費 ▲12.5億 中央公園施設保全費 ▲13.8億
繰出金	101	106	▲5	産業用地造成事業特別会計繰出金 ▲2.8億 都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金 ▲4.0億
その他	22	21	+1	
計	1,106	1,059	+47	

19

■ 歳出の特徴〈普通建設事業費〉

- ・将来のまちづくりに必要なハード整備を計画的に推進
- ・早期に効果を発現するため、継続事業を着実に推進

(重点施策1) 超高齢社会への適応	※ () 内は前年度比較
<ul style="list-style-type: none"> ・豊田地域医療センター再整備事業 ・(仮)松平地域体育館等建設事業 ・特別養護老人ホーム建設費補助 	30.2億円 (+20.9億) 2.6億円 (▲5.4億) 2.4億円 (▲1.3億)
(重点施策2) 産業の強靱化	
<ul style="list-style-type: none"> ・内環状線建設事業 ・上郷スマートインターチェンジ整備事業 ・南北バイパス関連整備事業 ・(都)豊田刈谷線整備事業 	32.5億円 (+5.6億) 4.8億円 (+3.7億) 4.5億円 (▲0.6億) 1.8億円 (+0.9億)
(重点施策3) 暮らしてよし、訪れてよしの魅力創出	
<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業(土橋、寺部、花園、平戸橋、四郷駅周辺) ・北部給食センター建設事業 ・朝日丘中学校増築事業 ・高嶺こども園建設事業 ・博物館建設事業 	49.6億円 (+2.6億) 25.6億円 (+24.9億) 10.9億円 (+10.3億) 9.2億円 (+8.4億) 1.8億円 (+1.6億)

20

■ 更なる歳入確保、事業・事務の最適化等の推進

● 積極的な歳入確保の取組 3.1億円

- 国庫補助金等の積極的な確保
- 市有財産の売却・貸付等の推進
- 広告事業の推進

● 事業・事務の最適化等の推進 ▲10.2億円

- 事業・事務の効率化及び見直し
 (職員採用試験科目の見直し、納税推進体制の見直し など)
- 事業・事務の廃止
 (廃棄物再生利用施設の廃止 など)

21



■ 今後の財政見通し

・ 地方税源の偏在是正等により、33年度以降、本市の歳入構造は大きな転換期を迎える

(1) 法人市民税国税化等の影響

※31年度当初予算額ベースで試算

■ 31年度当初予算での影響：▲73億円

法人市民税率	12.3%→9.7%	▲72億円
法人税率	25.5%→23.2%	▲34億円
地方消費税交付金	消費税率5%→8%	+33億円

■ 33年度以降の影響：▲79億円

法人市民税率	9.7%→6.0%	▲102億円
法人税率	23.2%→23.2%	0億円
地方消費税交付金	消費税率8%→10%	+23億円

◆ 上記以外に、増額要因として「法人事業税交付金」が交付される見込み

※31年度当初予算額と33年度試算額との比較

(2) 地方交付税合併特例の終了

※各年度当初予算の比較

■ 普通交付税額の推移

(27年度)	(28年度)	(29年度)	(30年度)	(31年度)	(32年度)	(33年度)
65億円	62億円	48億円	33億円	18億円	6億円	0円

- ・ 偏在是正の影響が本格化する33年度までの間は、基金・市債を有効活用し、早期の効果発現が期待される事業を見極めて積極的に推進
- ・ 同時に「事業・事務の最適化」を進め、将来の歳入構造の変化に備えていく

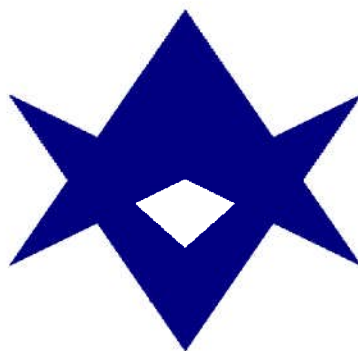
22



施策別の事業内容は別冊「豊田市の予算」にて
ご確認ください。



23



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

豊田市は、持続可能な開発目標を支援しています。

24